

**平成20年の死亡者数は25人
前年に比べ7人増加(前年比39%増)**

平成20年 熊本県の労働災害発生状況について

熊本労働局（局長 高橋祐輔）は、県下における平成20年の死亡災害の発生状況をまとめました。

平成20年の労働災害による死亡者数は25人で、平成19年の18人に比べ7人(前年比39%増)増加しました。

1. 業種別発生状況

業種別では、建設業6人(前年比1人増)、製造業5人(前年比1人増)、運輸交通業5人(前年比1人増)となっている。

2. 災害の型別発生状況

災害の型別では、「墜落、転落」3人(前年同)、「はさまれ・巻き込まれ」5人(前年比2人増)、「交通事故」6人(前年比3人増)、「激突され」5人(前年比3人増)、「飛来・落下」、「高温物との接触」がそれぞれ2人となっている。

3. 平成20年の死亡災害の特徴

- ① 平成19年に比べ7人(前年比39%増)増加した。
- ② 全産業に占める建設業の割合が年々減少し、昨年は24%となった。
- ③ 災害の型別で、「交通事故」と「激突され」が増加した。
- ④ 業種別で道路貨物運送業が急増した。(平成19年2人から平成20年5人)

また、平成20年の休業4日以上労働災害は、平成20年12月1日現在の数値では、1688件となっており、平成19年同期と比べて153件の減少となっている。